

## ヒルフェ通信(12月号) ❁ そっと寄り添いやさしくサポート ❁

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は東京都行政書士会が社会貢献の一環として設立した法人です。



### ◆ 中央支部・港支部・ヒルフェ共催の成年後見セミナーが開催されました

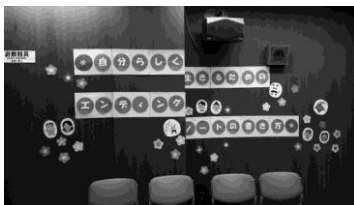
11月18日(金)銀座ブロッサムにおきまして、中央支部・港支部・ヒルフェ共催による「高齢者の消費者トラブルと成年後見セミナー」が開催されました。理事長の挨拶から始まり、第一部では東京都消費者総合センターの方による「楽しく学べる消費者セミナー」と題し、最近の高齢者被害の実態や、特殊詐欺の実例を参加者を交えて実演することによりリアルに、かつ楽しくお話いただきました。



第二部では「成年後見お役立ちセミナー」と題し、ヒルフェ佐々木正彦専務理事より、成年後見制度の概要、成年後見人ができる具体的な事例をQ&A形式の資料と共に、わかりやすくお話いただきました。参加者から制度利用に関する具体的な質問や、ミニ相談会には2組の申込がありました。限られた時間のなか各支部のご協力があり無事終了し、アンケートの結果でもわかりやすいとたいへん好評でした。

### ◆ 地域の図書館でセミナーを開催しました

本年度のヒルフェの新たな地区活動の一つとして、図書館セミナーがあります。江戸川と港の実施レポートをご紹介します。今後も、このようにヒルフェや、行政書士が周知されるよう、地域に根差した活動を続けていきたいと思っております。



○江戸川地区で、昨年度に地区活動の一環として、図書館を訪問をしたところ、葛西図書館より地域住民向けのセミナーのご依頼をいただきました。6月18日(土)「自分らしく生きるためのエンディングノートの書き方」と題し、冊子「みちしるべ」を利用して、必要性や書き方のセミナーを、地区会員を講師として行いました。常日頃からいろいろな催事をされていることもあり、30名を超える方が集まり、アンケートでも概ね好評でした。図書館側も、独自のアットホームな飾りつけや、ちょうど各図書館に送られていた「プエンテ」の法教育特集号も展示して下さるなど大変協力的で、次回につながる活動になったと思っております。

○去る9月24日(土)午後2時より港区の三田図書館にて「私らしく老後を生きたい！成年後見人制度って何ですか？」というテーマで、ヒルフェ港地区の黒澤聡子理事を講師として成年後見セミナーが行われました。参加者は定員20名のところ、一般14名、見学者7名で、30代から70代まで幅広い年代層でした。区の広報紙、館内のポスターを見て参加したようです。内容は、成年後見制度の概説、任意後見、法定後見、両者の違い等です。セミナーは適宜、参加者からの質問に答える形で進行し、参加者の問題意識や関心の高さをうかがわせました。セミナー後のアンケートでは「再度やってほしい。」「具体例を挙げた説明で、とても身近に感じられました。」など出席者の満足度も高く、概ね好評でした。



### ◆ 東京家庭裁判所「後見サイト」よりの情報

- ①後見制度支援信託を利用する場合、高額の手元金を管理する後見人に対し、裁判官の判断により、現在の手元金の一部を追加して信託することの検討を求めることがあります。
  - ②監督人が選任されている後見人等が報酬付与申立てをする場合は、監督人を通じて申し立てるなどして、できる限り監督人と同時に申し立てるようにしてください。
- ※詳しくは、東京家庭裁判所「後見サイト」をご覧ください。

